



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第59号

令和3年5月5日発行

さ よ う



春らんまん

もくじ

- ・ 第102回定例会 審議内容 2
- ・ 一般質問 8人の議員が斬り込む 12
- ・ 議会の動き！ 21
　　議会改革研修会～開かれた議会へ～、組合議会報告
- ・ 議会の予定、編集後記 裏表紙

将来を展望し安心・安全を第一に予算編成

令和3年度当初予算は、一般会計122億1,653万円、特別会計・企業会計を合わせた総額は210億2,661万円で前年度比29%減となりました。

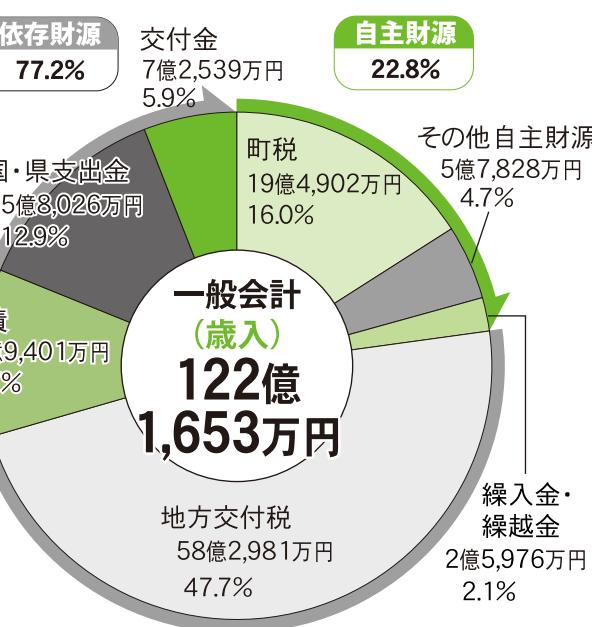
町債が前年と比べ減額された要因は、養護老人ホーム佐用朝霧園改築事業完了などにより、ハド事業の事業費が減になりましたことによります。

センターの跡地に駐車場。将来を担う子どもたちの教育環境の整備に佐用中学校の大規模改修、子育て世代や若者の定住支援も昨年同様引き続き継続。産業振興策では、昨年統合した直売所加工施設の整備基本構想の策定委託料や「さよう農の匠養成塾」の運営費。

	歳 入	金 額	説 明	前年比%
自 主 財 源	町税	19億4,902万円	町民の皆さんが納めた税金	△6.7
	その他	5億7,828万円	使用料・手数料・寄附金他	△2.0
	繰入金等	2億5,976万円	特別会計や基金からの繰入金	△38.1
依 存 財 源	地方交付税	58億2,981万円	国から交付されるお金	3.7
	町債	12億9,401万円	国や銀行から借りるお金	△31.0
	国・県支出金	15億8,026万円	国・県からの補助金	△0.6
	交付金	7億2,539万円	地方消費税など国から交付されるお金	9.0
合 計		122億1,653万円		△5.0

令和3年度予算の概要

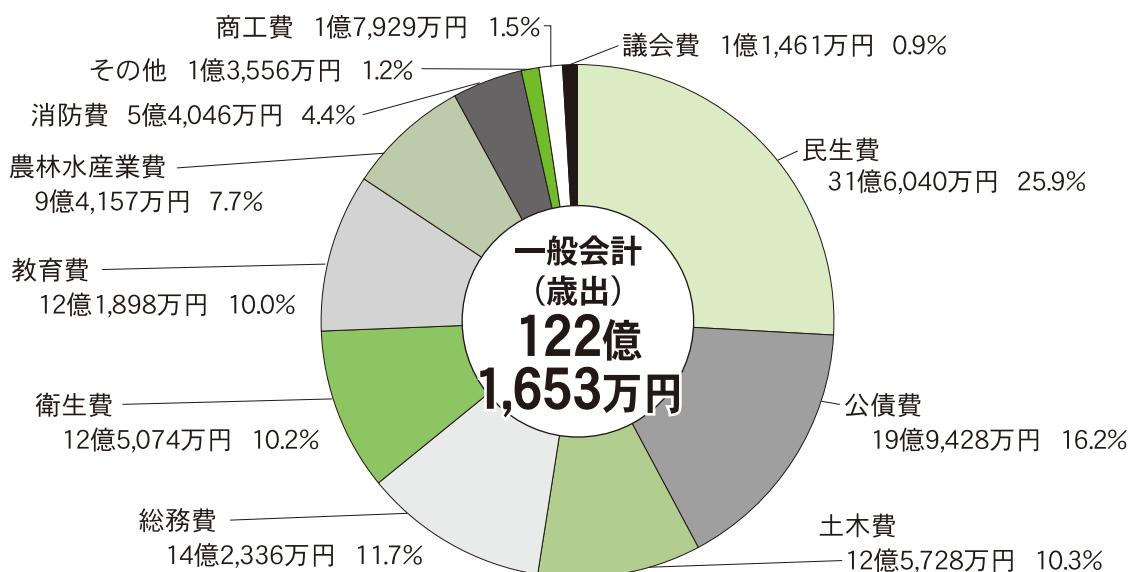
3月定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開催し、令和3年度一般会計ほか、各特別会計予算案13件は、予算特別委員会を設置し2日間にわたり審査しました。条例の一部改正、指定管理者の指定、町有財産の無償貸付など36件、令和2年度補正予算案13件の計64件、発議1件、諮詢1件、同意1件などすべて原案のとおり可決、承認しました。一般質問は、8名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。



令和3年度 予算決定

一般会計 122億1653万円
昨年度比5.0%減
特別会計 88億1008万円
昨年度比0.1%増

歳出	金額	説明☆主な新規事業	前年比%
民生費	31億6,040万円	☆養護老人ホーム佐用朝霧園の運営を社会福祉協議会に委託する指定管理委託料 200万円 ☆引きこもり支援対策 103万円	△16.5
総務費	14億2,336万円	☆防災行政無線統合制御局設備更新 2,278万円	△28.8
衛生費	12億5,074万円	☆新型コロナワクチン接種委託料 7,263万円 ☆帯状疱疹ワクチン接種助成 16万円	△2.0
土木費	12億5,728万円	☆町道林崎東徳久線道路新設改良工事 1,650万円	△6.0
農林水産業費	9億4,157万円	☆「さよう農の匠」養成塾開設 391万円 ☆3直売所(元気工房さよう)の運営事業基本構想策定委託料 300万円 ☆基礎地図情報作成業務委託料 5,000万円	△6.2
教育費	12億1,898万円	☆佐用中学校大規模改修 1億2,185万円 ☆三日月地域交流センター運営三日月文化センター解体費 1億3,309万円	23.0
消防費	5億4,046万円	☆三日月第1分団車両更新 1,050万円	△4.5
商工費	1億7,929万円	☆学生向け起業セミナー 23万円	△1.2
公債費	19億9,428万円	町債の返済	38.4
その他	1億3,556万円	基金積み立て金、予備費他	△13.2
議会費	1億1,461万円	議員報酬・議会だより印刷費	△4.7
合計	122億1,653万円		△5.0



◆**繰り上げ償還** ◆**併算定替** ◆**一本算定・合算** ◆**用語解説**

と了。お金の返済期日満前に償還するこから借りているために、将来負担を減らすために、国や銀は合併前の状態だと仮定して、普通の交付税額に不利が生じる場合がある。しかし、大きな一つの市町村だと交付税額に不利が生じる場合がある。そこで一定期間は合併前の状態だと仮定して、普通の交付税額を比較し、有利な方を採用する(併算定替)。計算する(一本算定)。

※1 合併した市町村は1つの市町村として普通交付税上計算する(一本算定)。

※2 と了。お金の返済期日満前に償還するこから借りているために、将来負担を減らすために、国や銀は合併前の状態だと仮定して、普通の交付税額に不利が生じる場合がある。しかし、大きな一つの市町村だと交付税額に不利が生じる場合がある。そこで一定期間は合併前の状態だと仮定して、普通の交付税額を比較し、有利な方を採用する(併算定替)。

令和3年度予算特別委員会で二日間にわたって白熱の議論

3月8, 9日



令和3年度の予算は、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、3月8日・9日に審議しました。質疑の主なものを紹介します。

予算特別委員会 委員長 平岡きぬゑ
副委員長 金澤 孝良

一般会計

(歳入)

町税

問 町民税や法人税、固定資産税の町税は、1億4000万円減額だが、内訳は。

答 コロナ関係で5%約3600万円と、その他800万円の減額。固定資産税の9600万円は、全額国から補填される。

地方交付税

問 増額の要因は。

答 国の地方交付税総額が前年度比51%増と、地域デジタル社会推進費4000万円の増。令和2年10月に行われた国勢調査の人口減少分と合併算

定替え(※1 P.3)を勘案し、令和2年度の実績に比べ、0.4%増額した。

いく考えだ。

さよう農の匠養成塾

事業内容は。

平成28年開始のいき帰農塾から農の匠への継続した申し込みは、

(歳出)

特定建築物等定期報告

報告の実態は。

答 3年に1回と10年に1回の定期検査がある。

町は、検査報告業務仕様書に基づいて見積入札を行い、業者を決定している。今後、全面打診調査が必要な建物や時期等を把握していく、町の責任の中で安全性を確保していく。

野菜コースが7名中3名。果樹コースが12名中8名の応募があった。

直売所運営事業

農産物加工施設運営

基本構想の内容は。

答 昨年10月から元気工房さようとしてスタート

経営改善に向けて基本構想策定を行い、整備方針を決めていく。

販路は、直売所に出荷している。今後、給食センターにも出荷できる地

産地消も進めたい。



▲味わいの里三日月北側での「さよう農の匠養成講座」
(4月10日)

「引きこもり」にある人の支援対策



▲ 佐用朝霧園(林崎)

問 消防ポンプ車両を更新
答 平成29年3月の法改正で、準中型免許が必要になったがどうするのか。
答 機動分団車両7台は、順次更新する予定。令和元年度調査で機動分団員105名中2名が準中型の免許がなく運転できない状況。今後、免許取得に対する補助等を検討する。



▲ 法改正により準中型免許が必要となった消防車両

問 簡易水道事業
答 公営企業会計に移行

にしはりま環境事務組合負担金

問 支援組織の設立などは考えているか。
答 令和3年度から実態を把握し、保健師などの勉強会や講演会などで支援を探っていきたい。上郡町や宍粟市・美作市の調査内容を参考にし、取り組みたい。

問 火災による負担金への影響はあるか。
答 設備・電気関係・シャッター等、被害額は約1億円以上の見込み。

問 保険で対応できるように交渉をしていく。



▲ にしはりまクリーンセンター リサイクル棟火災現場

特別会計

に配当金が増額できる見通しだ。

問 国保財政の兵庫県主体化で保険税はどうなっているのか。
答 令和3年度県への納付金は、従来とあまり差が出ないようにという県の方針で算定されている。

問 佐用町は、一人当たりの医療費が県下でも高い方なので、医療費削減の取り組みが必要になる。子どもの均等割保険料廃止は、令和4年度から改正の見込みだ。

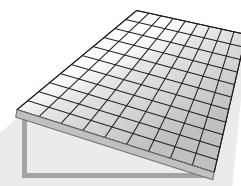
問 メガソーラー事業
答 利子配当の見通しは。令和元年7月から秀谷の太陽光発電所が売電を開始、今年度から配当金が500万円増額された。今後は、令和7年2月で申山発電所の借入金償還が終わるので、やり

問 パネルの廃棄処分費用の見通しは。
答 令和4年4月から壳電期間終了前10年間で、廃棄費の外部積み立てが義務化される。令和2年度から毎年500万円を積み立てている。



▲ 申山太陽光発電所

◆ 調停
※3
用語解説
制度。
当事者との間に利害関係を有しない公平・中立な第三者が和解の成立に向けて協力する



反 対

住民要望に
不十分な予算

金谷英志

賛 成

ポストコロナ
を見据えた予算だ

岡本安夫

公債費の繰り上げ償還はやめ、今の住民が求めている事業への財源とするべきだ。

地域振興では、まちづくり協議会の「振り返り」を検証し、地域内経済の循環が求められる。農業では小規模の農家を支援し、さらに農業特産品の育成の強化が必要だ。

地域・産業の振興、教育・文化の発展と安心して暮らせる福祉、健康づくりの充実に不十分な予算である。

昨年からのコロナ禍が当面続くことを前提とするなら、今後はポストコロナを見据えた町づくりが必須である。

昨年比6億3000万円の減額だが、これが、教育と子育て環境の整備・町民福祉の向上

町長の施政方針で、一番に触れられた「安全・安心なまちづくり」は正しく、必要だ。しかしながら、スクールバス、スクールタクシー事業およびタクシー補助事業に加え、学校、ホールなどの特殊建物の定期検査で安全・安心への取り組みが形骸化し、法令違反が疑われる事象がある。

令和3年度予算は社会経済情勢の変化を柔軟に捉え、それに応じた着実な行政改革を進めるものである。

各施策の継続性を保つつゝ、新規事業にも取り組み、特に仕事や学校に行けず社会的に孤立状態にある、「引きこもり」への支援対策。また、各特別会計への繰出金を、安定かつ、公平性を保ち最 小限にとどめていることは評価できる。

噂や想像で確たる根拠等、合理的な理由がない場合、行政は事業者に不利益処分は下せない。

国保会計は、平成30度から県が財政運営の責任主体となつた。県では、今後、同一保険料を実現し、制度の安定化を図るとしている。運営主体が県になつたとはい、厚生労働省は「一般会計の繰り入れは自治体の判断ができる」、「生活困窮者への自治体独自の軽減は問題ない」と制度導入時は答弁している。

また、一般会計から必 一般会計からの繰り入れで被保険者の負担軽減に取り組むべきである。

要額も繰入れ、低所得者にかかる軽減措置も行われている。医療費の適正化に向けた取り組みを推進し安定した運営のできる予算である。

反 対

安全・安心へ
の取り組みが
不十分

廣利一志

賛 成

経済情勢に
対応した予算

小林裕和

反 対

被保険者の
負担軽減に
対応した予算を

金谷英志

賛 成

安定した
制度運営に
向けた予算
千種和英

後期高齢者医療特別会計

反対

保険料軽減策に取り組め

児玉雅善

賛成

高齢者医療を支える柱

加古原瑞樹

後期高齢者医療保険制度は2年毎に保険料が上がる仕組みとなっているが、コロナ禍が収まる気配が見えない中で、高齢者を取り巻く環境は経済的にも、医療の面でも厳しいものとなっている。

高齢者が適切な医療を受け、安心して暮らせるよう、保険料軽減策を取り入れるべきであった。

少子高齢化が進み、医療費の増大が進む中、被保険者が安心して適切な医療を受けられるこの後期高齢者医療制度と本特別会計の果たす役割は大きく、高齢者医療を支える柱である。

この制度は、若い世代と高齢者の負担を明確にして、県下の市町で設置した広域連合と各市町で運営しており、県下統一の保険料である。加入者が安心して安定的に医療を受けることが出来る予算となつており賛成する。

少子高齢化が進む中、介護の平準化」や「介護給付の適正化」と称して市町を競わせるもので、さらに保険者機能強化推進交付金とのリンクで介護給付抑制につながる。

総合事業では高齢者が必要な介護サービスを受けることが難しくなり、行き場のない要介護高齢者の方々がますます困難な状況へ追い込まれかねない。

保険料は、据え置きではなく引き下げるべきである。

介護保険特別会計

反対

保険料は引き下げるべきだ
金谷英志

賛成

安心してサービスを受けられる
予算編成
加古原瑞樹

調整交付金は、「介護の平準化」や「介護給付の適正化」と称して市町を競わせるもので、さらに保険者機能強化推進交付金とのリンクで介護給付抑制につながる。

また、積極的に予防にも取り組もうとしており評価できるが、今後さらに厳しい財政運営が続くと思われる。事業の検証や保険料収納率の向上、低所得者の負担軽減など適正かつ住民が安心できる制度の運用を要望して賛成する。

令和3年度 各会計予算採決状況

○賛成 ×反対 ※議長(石堂基)は同数以外採決に加わりません

議案名	議員名	金澤孝良	児玉雅善	加古原瑞樹	千種和英	小林裕和	廣利一志	岡本義次	金谷英志	山本幹雄	岡本安夫	西岡正	平岡きぬゑ	石堂基	採決結果
一般会計		○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	— 可決
国民健康保険特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	— 可決
後期高齢者医療特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	— 可決
介護保険特別会計		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	— 可決
水道事業会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	— 可決
メガソーラー事業収入特別会計、簡易水道事業特別会計、特定環境保全公共下水道事業特別会計、生活排水処理事業特別会計、西はりま天文台公園特別会計、笹ヶ丘荘特別会計、宅地造成事業特別会計、石井財産区特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	— 可決

養護老人ホーム『佐用朝霧園』を社協指定管理へ

議案審議

養護老人ホーム『佐用朝霧園』の指定管理

問 佐用朝霧園は福祉の割合が大きい。

3年度は、園長ほかの職員派遣をするが、将来的にも町が関わりを持つべきでは。

町長 社会福祉協議会は別の法人格を持っているが、実質町の福祉活動を

町行政と一緒にになって行っているとおえている。

人事交流や事業の内容も柔軟で、幅広い福祉事業が展開できると考えている。

問 指定管理費（※4）が200万円では足りないと思うが。

また、現在定員が50名で24名しか入所していないが運営ができるのか。



▲社協ボランティアによる(ふれあい喫茶)の佐用朝霧園訪問

結果 全員賛成 可決

町長 予算について誤解がある。200万円は事務的な経費だ。

正職員の人事費など、全体の運営費や必要な経費は町が負担する。入所者が定員に近づけば措置費だけで運営できる。その努力は社協にしてもううことが前提だ。

町有財産の無償貸付

(総務常任委員会報告P.10を参照)

人事案件



▲旧木村邸の酒樽を再利用したダイニングキッチン

上げたもので、共同経営責任者である。これまで各地で運営してきたノウハウを基に一緒に取り組んでいただく。

佐用町三日月地域交流センター条例の制定

(総務常任委員会報告P.10を参照)

問 平日は支所に職員がいるが、土曜、日曜、休日は、現在と同じようにシルバー人材センターに業務委託する。

結果 全員賛成 可決



▲三日月地域交流センター内に新設されたトレーニングルーム

同意

人権擁護委員

福山真龍氏（南中山）を適任とした。

諮詢

佐用町監査委員
中井幹夫氏（須安）を選任した。

町長

「株かのね」は町内の若手事業者と、「株NOTE」が共同出資し立ち

令和2年度一般会計 補正予算承認

飲食店の時短協力金

問 新型コロナ感染症の防止協力金640万円の根拠と、6万円の支給状況は。

課長 県の指示を受け経済センサスに基づき64軒25日間を見込んだ。

6万円の内20%の3分の1、つまり400円が町の負担分である。支給の報告は3月中旬以降になる。

問 総務費の国庫補助金が277万7000円の減額だ。

課長 国の臨時交付金は回も補正された。さらに国は第3次補正を3月上旬にすると聞いたが、その関係か。

課長 専決補正で商工關係分を640万円と試算

したが、その後、内示が出て確定した。

国の第3次補正はさら

に、期間を置くことにならなかった。

また、奥金近の敷設工事を予定したが、舗装の状況が良好なので、まだ漏水事故が起こってない状況を勘案して取りやめた。

問 新型コロナの影響で介護施設の従事者がPCR検査を受けられるよう提案してはどうか。

課長 用途は各課の要望を聞いて取りまとめる。具体的策はまだない。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

令和2年度特別会計 補正予算承認

介護保険特別会計

したが、その後、内示が出て確定した。

に1億9219万円あるが、3年度予算で対応する。

漏水事故が起こってない状況を勘案して取りやめた。

問 新型コロナの影響で事態宣言下では施設も感染者予防を徹底するため利用者も少なかつたが、その後は、県の対処方針によるように、利用を控えることのないように予防対策を徹底し通常通り行つた。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

令和2年度一般会計 補正予算承認

令和2年度特別会計 補正予算承認

簡易水道会計の減額

したが、その後、内示が出て確定した。

に1億9219万円あるが、3年度予算で対応する。

漏水事故が起こってない状況を勘案して取りやめた。

問 町税の法人税割と固定資産税の償却資産分の増額要因は。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

町税の増額

問 町税の法人税割と固定資産税の償却資産分の増額要因は。

問 簡易水道会計への繰り出金が大きく減額された理由は。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

水道事業会計

問 簡易水道会計への繰り出金が大きく減額された理由は。

問 賃却資産分は大型法人の償却資産の伸びと太陽光発電の伸びである。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

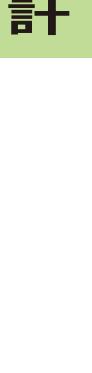
結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

問 管理費5756万円の大きな減額要因は。

問 見土路橋の水管橋は県の工事の関係、淀橋水管橋の架設替えは台帳と管路が違うのでルートの検討が必要になった。

に確認したら必要ないことが確認された。

今後は現状をしっかりと把握して予算化する。



▲沈殿池搅拌装置更新工事

結果 全員賛成 可決

三日月地域交流センターの開設

(P 8 関連記事)

委員会付託案件の審査報告 総務常任委員会 3月 11 日



▲旧木村邸と酒蔵周辺の整備状況を確認(3月11日)

問 旧木村邸と酒蔵周辺の整備状況を確認するに、ある程度の修繕が見込まれる

結果 質疑・討論なし
全員賛成 可決

■町有財産の無償貸付
(旧木村邸建物及び敷地)

昨年3月議会で議決した平福地域の旧木村邸酒蔵の無償譲渡と土地の無償貸付に併せ、旧木村邸周辺の有効活用を図るために、母屋木造2階建て141.3m²とその底地433m²を無償貸付するものです。

答 〔問〕 貸付期間の根拠は。昨年3月議会で酒蔵の建物の無償譲渡と底地の無償貸付を議決していた。その貸付期間の終了に合わせて設定しました。

〔答〕 貸付相手方は「株式会社田康次氏」で、令和3年4月1日から令和2年3月31日まで無償貸付するものです。

総務常任委員会

委員長 加古原 瑞樹

規模の大きなものについてはどの様に対応するのか。

答 要因や金額によってその都度、貸付方と協議して決定していくべきだと考えます。

結果 討論なし
全員賛成 可決

■佐用町三日月支所等複合施設条例の制定

問 三日月支所の更新時期が同じになります。今回整備した分で、19年の貸付け期間中

答 三日月支所の更新として、地域住民に密着した行政サービスの提供を図ると共に、地域コミュニティ活動の促進および地域の活性化を図ることを目的としています。

■佐用町三日月地域交流センター条例の制定

問 三日月支所の更新により生涯学習活動を推進し、高齢者をはじめとする地域住民の健康増進お

答 三日月文化センター条例、佐用町老人福祉センター条例および佐用町三日月廣業館条例を廃止し、これらの用途を継承する新たな施設を設置するための条例制定です。

結果 質疑・討論なし
全員賛成 可決



▲完成間近の三日月地域交流センターの視察調査(3月11日)

「第3次佐用町健康増進計画」及び「第3次佐用町食育推進計画」並びに「第2次佐用町自殺対策計画」を策定 委員会付託案件の審査報告 産業厚生常任委員会 3月 12日

▶策定された各計画の概要版



■第3次佐用町健康増進
計画及び第3次佐用町食育推進計画並びに第2次
佐用町自殺対策計画

健康増進計画は、町民の健康づくりを支援するとともに、一人ひとりの健康に対する意識向上を目的に町民の健康づくりを推進するための計画です。

食育推進計画は、健康新しい「生きる力」と「豊かな人間性を育む」を基本理念とし、食育を推進する計画です。

自殺対策計画は、一人ひとりが生きがいや希望を持って暮らすことが出来る「自殺のない社会」づくりを展開するための計画です。

問 「おしゃべりクラブ」、「リーダー養成講座」に健康増進室がどう関わり、指導しているか。

答 「おしゃべりクラブ」は地域の高齢者の食生活を見直すため、ボランティアの方たちが食事の指導をしているが、栄養士が講習会をもって献立など指導していくます。「リーダー養成講座」は、県と町の栄養士が季節ごとの食事、栄養の取り方などを指導して、生活改善のリーダーを養成しています。

平成30年度の自殺死

産業厚生常任委員会 委員長 廣利一志

亡率が突出して高い要因は。一人ひとりの要因分析は行っています。特段の要因はありません。

問 糖尿病、高血圧症に対する今後の指導のポイントは。

答 重症化することを視野に、薬や医者だけに頼るのでなく自身でのコントロールを重視し、要治療となつた方がたの受診確認を徹底することです。

問 国民健康保険の都道府県主体化が平成30年なのに、なぜ今なのか。

答 制度改正の時点では、町の基金は必要ないと県の指導でしたが、財源不足の際は県の基金から借りるため、今回、一部改めて財政調整基金にしたい。

結果 全員賛成 可決

■佐用町国民健康給付費準備基金条例の一部を改正する条例

問 「コロナ禍のような経済事情の急激な変動等により、国民健康保険税収の減少が見込まれる場合には、国民健康保険会計の財源が不足する可能性がある。

答 7期と変更ありません。第7段階から第9段階は、「200万円を210万円」、「300万円を320万円」に改正します。変わる7、8、9段階の対象者の人数は。

答 7段階で令和3年度から令和5年度の3年間で、2400人。8段階で、798人。9段階で、295人という試算です。

※本会議で反対討論あり

結果 全員賛成 可決

■佐用町介護保険条例の一部を改正する条例

反対討論 呉玉雅善

「コロナ禍が収束する気配が見えてこない状況で、町民の暮らし向きも厳しく、税金や公共料金の負担が重くなっている。コロナ禍による社会情勢、経済情勢の変化を考慮して第8期介護保険事業計画を見直し、介護保険の負担額は据え置きではなく、引き下げるべきである。

結果 多数賛成 可決

▶財源不足額を埋めるために年度間での財政調整機能を持つた基金を保有することが必要です。佐用町国民健康保険給付費基金条例を一部改正し、財政調整を目的とする基金に変更するものです。

問 第7段階から第9段階は、「200万円を210万円」、「300万円を320万円」に改正します。

答 7期と変更ありません。第7段階から第9段階は、「200万円を210万円」、「300万円を320万円」に改正します。

問 別の保険料は、第1段階



3月3・4日、8人の議員が町政をただしました。

●千種和英 議員	13
① 農業振興としての農業政策の成果と今後の見通し	
●小林裕和 議員	14
① 令和3年度の予算編成における課題と対策は？	
●金谷英志 議員	15
① デジタル化でどうなる町行政	
② 県道千種新宮線の拡幅を	
●岡本義次 議員	16
① 新型コロナウイルス感染症対策はできているのか	
② 役場職員の採用は	
●廣利一志 議員	17
① 「資産」である空き家・古民家を利活用するために	
② 学校・園の跡地活用の現状と成果は	
●金澤孝良 議員	18
① 佐用町の30年後のために	
●平岡きぬゑ 議員	19
① 新型コロナウイルス感染症対策	
② 歯科保健予防事業の拡充を	
●児玉雅善 議員	20
① タクシー助成制度とタクシー事業者について問う	
② 旧木村邸と酒造場跡、利神城跡の進捗状況は	

8人の議員が
町政のこと
が聞きた
い

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

農業政策の成果と今後の見通しは

町長 — 課題も認識し引き続き推進



ちくさ かずひで
千種 和英 議員



▲ GI 登録を農業振興にどう生かすか

問 農業政策の成果と今後の見通しは。
町長 収穫量は需要量をかうじて確保。ハード支援として耕作機械導入、ソフト支援として令和2年度は収穫補助金を100円から155円/kgに増額したが、令和3年度の作付けは大幅拡大には至っていない。現状の3割増の90tの生産を目指している。販売は、ほぼ全量を全農へ出荷し販売の課題があるが、改善の検討は考えている。

問 地元野菜の納入の状況と今後の見通しは。
町長 学校給食の地産地消・質的向上事業を推進している。現在の納入生産者は4団体12人で自給率は32%。

問 県の目標35%であり、優秀な事例と捉えられているが今後どう考えるか。
町長 3店舗の相乗効果により、味噌や餅の売上伸びは伸びている。しかし、コロナ禍による外出自粛等の影響によりマイナス要素も発生している。

問 県の目標35%であり、優秀な事例と捉えられているが今後どう考えるか。
町長 3店舗の相乗効果により、味噌や餅の売上伸びは伸びている。しかし、コロナ禍による外出自粛等の影響によりマイナス要素も発生している。



▲学校給食センター納入者説明会の様子

問 GI（地理的表示保護制度）登録されたもちは豆の生産・販売の現状は。

町長 収穫量は需要量をかうじて確保。ハード支援として耕作機械導入、ソフト支援として令和2年度は収穫補助金を100円から155円/kgに増額したが、令和3年度の作付けは大幅拡大には至っていない。現状の3割増の90tの生産を目指している。販売は、ほぼ全量を全農へ出荷し販売の課題があるが、改善の検討は考えている。

現段階では落ち着いた経営だと認識している。算では大変厳しい状況。

町長 2019年度決算では、営業キヤツシユフローベースでの収支均衡を目指す3カ年の

初年度、様々な改善の取組みを進め、赤字を昨年比900万円程度改善できる見込みだが、収支均衡にはまだまだ届かない。

問 学校給食センターへ地元野菜の納入の状況と今後の見通しは。
町長 学校給食の地産地消・質的向上事業を推進している。現在の納入生産者は4団体12人で自給率は32%。

問 佐用まなび舎農園の経営状況と当初想定の横展開への現状での可能性はどう考えている。
町長 佐用まなび舎農園の経営状況と当初想定の横展開への現状での可能性はどう考えている。

問 小規模農業プラント施設による将来的な横展開に向けたビジネスモデル構築を検討したい。
課長 保存のできる野菜に関してはもっと出荷して頂けると考えている。

問 佐用高校農業科学科との連携は。
課長 今年度2回の授業を行った。

3年度の予算編成に於ける課題と対策は



こばやし ひろかず
小林 裕和 議員

町長——行財政改革と安定した財政運営を図る

問 事務事業の見直し状況、各分野の検証等で重点に取り組むべき課題と対策は、予算にどう反映されているか。

町長 住民サービスの水準を維持・向上するためには、長期的な展望により積極的な行財政改革を進め、効率的で効果的な行財政運営を確立する必要がある。

第4次行財政改革大綱では、町民と行政の役割分担を図り、地域の個性を生かした創意工夫のまちづくりを推進する。限



▲住民参画による里山整備・バッファゾーン

問 鳥獣被害対策に対する課題と対策は。

町長 被害は、年々増加の傾向で、特に農作物には大きな被害を及ぼしている。多数捕獲しても被害は減らない現状である。

今後、鳥獣被害対策については、地区によっては、防護柵や電気柵が経年劣化のため防止力が低下しており、補助対象とする設置区画等の内容について検討を進める。

また、箱ワナ等による捕獲活動の実施にも取り組み、効率的な事業の推進を図る。

手への農地の集積・集約を取り組み、様々な事業

また、新たに新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした「新しい生活様式」への対応を3年度予算化している。



▲経年劣化した獣害防止柵

マイナンバー制度は監視社会につながる

町長－情報は分散管理している



かなたに えいし
金谷 英志 議員

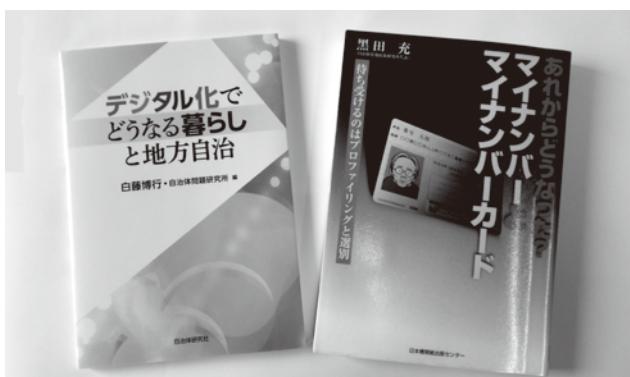
問 国がマイナンバーに紐付く情報を一元管理するようなことはなく、分散管理している。監視社会につながるものではない。

町長 国がマイナンバーに紐付く情報を一元管理するようなことはなく、分散管理している。監視社会につながるものではない。

問 マイナンバー制度は、社会保障・税番号制度として2016年に始まり、健康保険証のオンライン資格確認を今年3月から行う。今後は、戸籍、預貯金口座、不動産などの個人情報を紐付けようとしている。これは、国による個人の管理・監視社会につながるのではない。

権・地方自治は、画一性よりも自立性・多様性を尊重している。標準化は、自治体の創意工夫の発揮を阻害しないか。

町長 現在、窓口対応や紙による申請で行っている業務は、デジタル化で行政運営の簡素化、効率化が進む、阻害するものではない。



▲マイナンバー、デジタル化に警鐘を鳴らす

問 窓口における手続き業務は職員が介在しなければならない業務だ。デジタル化によって行政サービスの低下にならないか。

町長 デジタル化によって行政サービスの低下にならないか。

窓口業務は、問い合わせの対応、生活相談までの一連の業務が職員の連携によって結びついており、デジタル化は業務の補助手段と考えている。

町長 この路線の改良について県は、真宗では4億円あまり、志文では2億円以上の事業費をかけた。

問 県道千種新宮線の拡幅を

今後の具体的な実施計画はできていないが、重要な路線と考えており、継続して整備されるよう要望する。

問 県道千種新宮線（志文谷）は、明尾橋上・下流、真宗・問村ではまだ狭いところがある。交通量の多い路線であり、県に早期拡幅の要望を。



▲狭い県道(真宗)

新型コロナウイルス対策は万全か



町長――対策室を設置し、準備している

- 問** 国はワクチンが入り次第、市町村に配布し、打つしていくが、次のことを伺う。対象者への通知はどうのよにして、どういう人からワクチンを打つのか。
- 町長** 町から無料接種券を送り、すると言った人には会場日時を知らせ、希望者にはバスでの送迎もする。
- 問** どういう方から打ち確認はどうするのか。
- 町長** 医療従事者、65歳以上、基礎疾患、64歳から45歳、16歳以上と区分
- 問** 町から無料接種券を送り、すると言った人には会場日時を知らせ、希望者にはバスでの送迎もする。
- 問** どういう方から打ち確認はどうするのか。
- 町長** 医療従事者、65歳以上、基礎疾患、64歳から45歳、16歳以上と区分
- 問** 医師や看護師の確保とトラブルや副反応の把握は誰がするのか。
- 町長** 郡医師会の医師や看護師がトラブルや情報把握、文化情報センターは郡医師会から派遣された医師が対応する。
- 問** 対策室は、文化情報センターの方がいいのではないか。また、連絡



▲健康福祉課内に新型コロナワクチン接種対策室を設置

役場職員の採用について

- 問** 一次、二次合格した場合、災害の場合すぐに役場に出ることが出来るし町内優先はならないか。
- 町長** 地方公務員法13条平等取り扱い、15条任用基準があり、町内優先と
- 問** 保育園の正職員、非正規は何人か。
- 町長** 正規37名、再任用3名、非正規57名。
- 問** 仮に、6人採用するとすれば、3人は新規採用から、3人は非正規保育士から採用できないのか。
- 町長** 採用には等しく戸を開いている。働き方の問題もある。3年度は2名非正規から試験を受け採用することとなつた。
- がつかない方はどうするのか。
室の職員は健康福祉、企画防災、生涯学習課でそれぞれの業務と兼務する。
連絡のつかない方は、自治会長、民生委員の方に確認させていただくことも考えている。



▲元気な子育てに励む保育士さん

空き家バンクの担当者増を

町長—現行の3名から増やさない



ひろかが か ずし
廣利 一志 議員

問 1・03の戸の空き家を現行水準で空き家バンクが実績を継続して34年かかるが、感想は。

町長 家も耐久消費財、所有者の考え方もあるが、全て空き家バンクで対応できない。除却も必要だ。

問 空き家バンクでは見えない業務も多く、例えば、所有者との交渉、空き家の調査・見取り図作成、自治会長との仲立ちなどがあり、それらをきめ細やかに行っているので苦情もないが、今後定員増が必要だ。

問 江川地域での空き家の出前講座の開催だが、高評価を得た。

課長 初めての開催だが、高評価を得た。

町長 司法書士、建築業者など民間の専門資格保有者の協力を更に得たい。空き家バンクは、現行の

問 古民家の利活用と古民家を守る姿勢をアピールする意味から、建築基準法の規定除外条例の制定の考えは。

町長 兵庫県では約80軒を景観形成条例で重要建築物として、町内の2軒を含めて建築基準法の除外になっている。

問 地域のイベントにも積極的に参加していたが、マスコミに取り上げられ、田のイメージアップに繋がっている。

町長 地域のイベントに募時期及び住民の要望、意見は聞くのか。

町長 来年度には事業者を決定できたらと思つてある。住民の意向は聞くつもり。



▲江川地域での空き家出前講座



▲江戸時代の古民家見学会

30年後のために子育て支援を



町長——町独自の支援を行っている

問 人口減少が一向に止まらない状況は全国共通の課題でありながら決定的な施策がなく歯止めがかかっていない。

国策として少子化対策基本方針が平成11年に提出されているが全国的に歯止めがかかる現在に至っている。

佐用町も合併以降人口は、減少し続けており、子どもの数の減少が続いている。過疎地である佐用町では、より効果のある子育て支援を行わなくては、30年後の佐用町の

存続に大きく影響があると思われるため、将来においても安全・安心で健全な佐用町を継続するためさらなる子育て支援として、小中学校の給食費の無償化は出来ないのか。

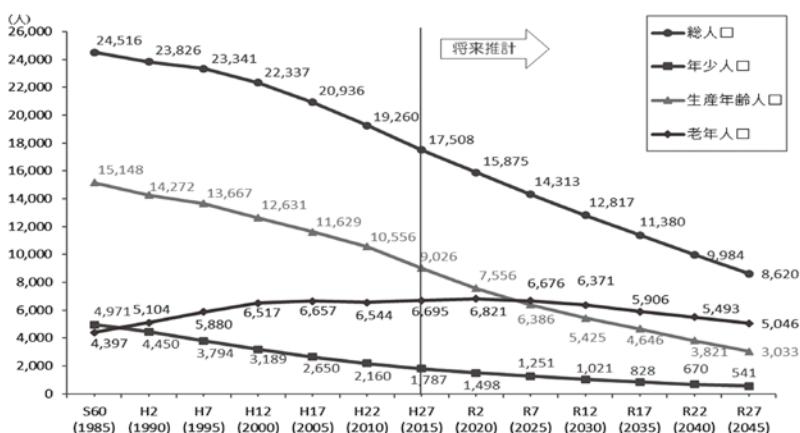
町長

子育て支援や移住定住促進事業など各方面の展開をしている。また教育児に関する支援も行っている。若者の定住促進策として新築応援金や住宅取得応援金・定住就職応援金も実施している。

第2子以降の保育料無

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
佐用小 利神小	259	242	225	228	220	286	263	271	277	269	265
	91	88	83	74	68						
上月小	172	152	159	160	154	152	140	135	126	112	106
南光小 南光小	104	99	95	89	76	109	112	102	104	97	100
三河小	43	43	38	42	40						
三日月小	104	100	91	88	89	77	79	85	80	78	74
小学校合計	768	729	691	681	647	624	594	593	587	556	545
佐用中	187	156	145	160	159	157	162	150	145	137	138
上月中	91	98	88	81	80	85	86	74	75	76	80
上津中	74	61	65	62	72	67	65	68	59	63	48
三日月中	90	71	65	50	46	46	47	46	41	40	43
中学校合計	442	386	363	353	357	355	360	338	320	316	309

▲小中学校児童・生徒数の推移



▲世代別人口の減少推移

(第2期佐用町地域創生人口ビジョン・総合戦略より)

計上しているところである。保護者の方にも子どもを育てる責任分野として半額の負担をしていたところだが、それに加えて佐用町独自の食材費支援もおこなっており、

それも含めて、年間3,700万円余りの予算を在半額の支援を行っているところだが、それに加えて半額の負担をしていて、より良い学校給食の推進に参画をしてい

ただいているという思いであり、半額の助成支援を継続する。

問

上下水道の基本料金の無償化は出来ないのか。

町長 上下水道料金については、現在でも料金収入だけでは維持できない状況にある。

今後人口減少や、戸数の減少が進む中でも、生活に必要なインフラについては、維持管理は当然していかなければならない。その施設の老朽化に対し多額な資金が必要となる。このことを考慮しなければならないので現行どおりの料金徴収体制が必要である。

社会的PCR検査の実施を

町長—町内高齢者施設で実施



ひらおか
平岡 きぬゑ 議員

問 国は2月4日付で高齢者・介護施設でのPCR検査を行うと通達したが状況はどうなっているか。また、社会的PCR検査をし、無症状感染者を把握・保護すべきだが、町長の見解は。

町長 町の感染者は14人。龍野管内の社会的検査は行われていない。

課長 町内の8高齢者施設のうち同意した7施設で従事者約500人が公費で3月末までにPCR検査をうける。

問 ワクチン接種で集団免疫を獲得することは重要だ。ワクチンは何人分確保できているか。

かかりつけ医では接種で

タクシー運賃助成事業不正防止策は

町長——今後は不定期監査する



▲佐用駅前で客待ちするタクシー

る事例が多数浮かんできた。法令違反の有無などをチェックする必要があると思うが見解は。

町長 違反があ
れば、近畿運輸
局が監査に入つ
て調査する。

問 調停では牛ぬるい、告訴するべきという声が見解は。

告語するとなむと

と町、合理的根拠

町長
テラスは4月以降

問 酒造場跡のテラス、

町長
母屋工事に概ね完了して
いる。庭、駐車場及び進入路は3月末まで

**旧木村邸と酒造場
跡の進捗状況は**

に調べなければならず、膨大な時間と手間がかかり、利用者にも大変な迷惑がかかる。

供用開始の予定だが、酒造場跡は飲食関係の店舗という計画に変わらないか。

宿および飲食店をオープンする予定と聞いている観光客が利神城跡に登れるのはいつになるのか。



▲工事中の旧木村酒造場とテラス

問 タクシー運賃助成事業は大きな実績を上げている。今年度の利用者数と助成金額、当該事業者が占める割合はいくらか。

町長 1月末現在で、利用者10,020人、助成金額約679万円で当該事業者（3社）の占める割合は、利用者数の45%、金額で47%である。

問 今後の不正防止策は。

町長 チケットを複写式にして、不定期に業者に立ち入り監査をすることにより不正防止に努める。

タクシーは、道路運

送法など各法規を遵守して営業することが求められるが、当該事業者では重大な法令違反が疑われ

町長 告訴あるとなむと

▲佐用
問 詛停ては生

待ちする
れば、
近畿運輸
町長

ノー
る事例が多数浮かんできた。法令違反の有無などをチェックす

こだま まさよし 児玉 雅善 議員

議会の動き!

議会運営委員会報告 2月2日 議会改革研修会

佐用町議会100回記念議会改革研修会

～開かれた議会へ～



▲活発な質問や感想、意見交換が行われた
委員会では、より議論を深めるために質問の事前通告を試験的に導入しています。それらの取り組みが昨年9月24日に神戸新聞の『ギカイズム』で紹介されました。

議会では、平成26年に地方議会の最高規範となる「議会基本条例」を制定し、議会改革に取り組んできました。

開かれた、住民に信頼される議会を目指し、一般質問のテレビ放映や議会報告会、議員懇談会等を実施しながら改善すべき点は改善を重ね取り組んでいます。昨年9月議会の決算特別委員会、先日の3月議会の予算特別

今日は、その著者である神戸新聞社編集局報道部デスクの井関 徹氏を講師に迎え研修会を開催しました。

▲活発な質問や感想、意見交換が行われた
委員会では、より議論を深めるために質問の事前通告を試験的に導入しています。それらの取り組みが昨年9月24日に神戸新聞の『ギカイズム』で紹介されました。

議会では、平成26年に地方議会の最高規範となる「議会基本条例」を制定し、議会改革に取り組んできました。



▲講師の神戸新聞社
井関 徹氏

<https://www.kobe-np.co.jp/rentoku/gikaismu/202009/0013724487.shtml>



▲神戸新聞社『ギカイズム2』

1月28日の夜に発生したリサイクル棟の火災について、管理者の庵造町長及び事務局から説明がありました。

- ・人口減少、地域の活力が減退する中、地方議会の役割と責任は大きくなっている（特に地方分権一括法施行後）
- ・役割を果たせているかは別として、議会活動が住民に知られていない
- ・議員のなり手不足が深い
- ・不祥事続きで、住民にも関心がない
- ・議員のなり手不足が深い
- ・議会に魅力がない
- ・これは少なからず佐用町議会にも当てはまるものもあるのではないかと感じました。

最後には、各議員から活発な質問や感想、意見交換が行われました。キーワードは『いかに住民の理解を得て、魅力を発信できるか』

改革の取り組みとしての議会全員が一丸となつて、今以上に議会改革に取り組むことを再確認しました。有意義な研修でした。

監査委員に横田 勉氏（たつの市）、公平委員に溝端雅孝氏（佐用町副議長に東 豊俊氏（宍粟市）を選出。

組合議員 児玉雅善
にしほりま環境事務組合
環境事務組合
2月16日
にしほりま環境事務組合
議会が開催され、議長に石堂 基氏（佐用町）、副議長に東 豊俊氏（宍粟市）を選出。

組合議会報告

にしほりま環境事務組合
播磨高原広域事務組合
西はりま消防組合

議会を傍聴しませんか。

傍聴はどなたでもできます。当日受付をしてください。

西はりま消防組合

2月24日

組合議員 廣利一志

定例議会を開催し、全議案を全員賛成で可決しました。

監査委員に蓮木了遠氏（太子町）を選任。

公平委員には、日谷聖一氏（相生市）、宗野祐幸氏（太子町）、溝端雅孝氏（佐用町）を選任。

消防職員のコロナ感染者救護防疫作業手当を支給するの件を条例改正で可決。

令和2年度一般会計補正予算は、159の万3000円を減額し、30億2903万6000円に補正。令和3年度一般会計予算は27億9の17万2000円となり、昨年度比減額要因としては、公会計システム導入委託の完了、屈折はじき付消防ポンプ自動車の更新完了などによるものでした。

6月定例会の予定

6月	7(月) 一般質問
	8(火) 一般質問
	10(木) 本会議
	11(金) 総務常任委員会 ※一般質問の模様は佐用チャンネルで放映します

播磨高原広域事務組合定例議会

2月24日 組合議員 小林裕和

- ・播磨高原広域事務組合教育委員会委員の任命 竹内久美子氏（上郡町）
- ・令和2年度播磨高原広域事務組合一般会計・上水道事業会計・下水道事業会計補正予算
- ・令和3年度播磨高原広域事務組合一般会計・上水道事業会計・下水道事業会計予算

上程議案すべて可決・承認

表紙写真によせて



光都チューリップ園では毎年多くの見学者の方でにぎわいます。

年間を通じて様々なイベントが開催されています。出かけてみてはいかがですか。

現在は、医療施設やサッカー場等を整備して交流人口の増加を目指しています。



<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kc09/event.html>

今後も活動の輪を広げ、佐用の元気を発信したいとおっしゃってます。

まちびらきから20数年、当初は定住人口の増加を計画していましたが、インターネットが飛躍的に発達により、いよいよ今まで研究が行われため目標には達していません。

年間を通じて様々なイベントが開催されています。出かけてみてはいかがですか。

町内のイベントは口ナ禍で自粲が続いているが、オンラインピックが開催される頃には、例年どおりのイベントや行事が行われるのを祈っています。

金澤 孝良

議会広報特別委員会							
委員長	小林 裕和	委員	加古原瑞樹	副委員長	金澤 孝良	委員	
委員	千種 和英	委員	岡本 安夫	委員	岡本 安夫	委員	平岡きぬゑ

編集後記

